

憲法しんぶん速報版

第 113 号

2005 年 4 月 6 日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

改憲阻止への決意新たに第 40 回総会

共同広げ、学習運動を草の根へ

4 月 3 日、憲法会議の第 40 回総会が開かれ、22 都道府県、16 団体から 59 名が参加しました。方針案にもとづく討論では 25 人が発言、情勢を反映して緊張感をただよわせながらも、憲法会議 40 年の歴史を踏まえ、また各地、各団体の運動が展開している状況を具体的に紹介しながら確信と決意を込めた討論を展開しました。

40 年の運動の教訓踏まえ

総会は、隅野隆徳代表幹事の開会あいさつ、浜林正夫代表委員のあいさつにつづき、川村俊夫事務局長が方針案の説明をおこないました。

川村事務局長は憲法会議 40 年の歴史が、さまざまな共同の探求の歴史であったことを紹介しつつ、こんにちその共同の拡大が最も求められている局面を迎えていることを指摘するとともに、「九条の会」や「5・3 憲法集会実行委員会」などによってその展望が開かれつつあることを強調しました。

討論は憲法をめぐる情勢や運動の教訓、組織・財政の全般にわたっておこなわれ、方針案が深められました。川村事務局長のまとめのあと、方針案は全員の拍手で確認されました。

《当面の予定》

「5・3 集会」宣伝行動

- ◇日時 4 月 9 日 1 時 30 分～
- ◇主催 5・3 憲法集会実行委員会
- ◇場所 新宿、上野、銀座マリオン
(憲法会議の分担は銀座マリオン、訴えとチラシ配布)

また。また、事務局を強化を強化する確認も含め新しい役員を選出しました。

選出された新役員

＜代表委員＞市田忠義（共産党書記局長）、熊谷金道（全労連議長）、国分稔（全商連会長）、坂本修（自由法曹団団長）、高田公子（新婦人会長）、長谷川正安（名大名誉教授）、浜林正夫（一橋大名誉教授）、渡辺洋三（東大名誉教授）
＜代表幹事＞石山久男（歴史教育者協議会委員長）、隅野隆徳（憲法研究者）、吉田健一（自由法曹団幹事長）

全国総会における発言

【梶（共産党）】 衆院憲法調査会は自公民の合意形成を重視しつつ、改憲のための論点整理されようとしている。

【筆保（大阪）】 徹底した議論のすえ確立した「憲法会議・共同センター」が、全府的な運動の力となっている。

【高田（新婦人）】 全会員が参加する運動がすすんでいる。地域のせめぎ合いで勝つため、対話と学習が重要。

【島村（自治労連）】 憲法パンフを26万部作成。自治体首長にも働きかけ自治体に働く9条の会も準備している。

【森（神奈川）】 「九条の会」講演会で弁護士・労組の結集が広がった。学習会の要求に応える体制作りが急務。

【小沢（静岡）】 昨年5月は16カ所で憲法集会が開かれたが、「九条の会」結成で相互連携の条件が広がった。

【吉田（自由法曹団）】 国民投票法制定は9条改憲のためであることを強調すべき。団の体制を強化する。

【門屋（民青）】 青年の中でイラク戦争反対から9条を守ね運動へ発展し大学単位のサークルも増えている。

【長谷川（全教）】 教育基本法の提出に手間取っているのは、道理のなさや反対運動の急速な広がりがあるから。

【高橋（高知）】 県内に「九条の会」の組織が広がり、党派を超えた県民運動が現実のものになりつつある。

【山本（東京）】 核廃絶の署名に比べ、憲法署名は議論が必要なのが現実。国民の雰囲気を変える取り組みが必要。

【佐藤（平和委）】 地位協定の規定を超えた米軍と自衛隊の一体化がすす

んでいる。9条破壊の実態も重視を。

【小野寺（宮城）】 大きな運動をするには力不足、参加団体の全構成員を動かすための産みの苦しみのさなか。

【望月（救援会）】 改憲に向け治安体制強化。警察は9条守る運動等における検挙を徹底するよう指示している。

【大田（日中）】 靖国問題、侵略戦争美化等で中国との関係は悪化。中国では日本の平和運動は知られていない。

【坂坂（石川）】 県の憲法運動に暴力分子が潜入する事件があった。全体的にこうした勢力に対する認識が弱い。

【山口（福島）】 憲法会議と共同センター、「九条の会」との違い、関連性を明確にすることが求められている。

【坂本（自由法曹団）】 学習会の講師活動には、職場や地域の実態をつかんだ準備が必要。団は全力をあげる。

【永嶋（山梨）】 定期的に事務局会議を開き、講師派遣も増えてきた。参加者の要求とかみ合わせる努力が必要。

【石山（歴教協）】 「つくる会」教科書は明治憲法に高い評価を与え、日本国憲法を「おしつけ」としている。

【舟木（島根）】 月1回の代表委員会、2月に1回の市民フォーラム。他団体との共同もできるようになった。

【空（国公労連）】 学習会が増え、「久しぶりに憲法読んだ」の感想も。憲法の語りべを増やしている。

【川畑（愛知）】 5・3集会と革新懇等と共催の連続憲法講座を柱に活動するなかで若い会員も増えている。

【栗岩（長野）】 9条署名に取り組む組織が多く地域につくられている。9条と要求を結び付けることも大切に。